

原作者 伴直人

監督者 佐藤樹一路

撮影者 三木茂

主演 明石緑郎

賭場の元締 阪東豊昇

スリ 大野三郎

質屋の主人 中村梅太郎

眞人の弟 松枝鶴子

眞人の妻 沖田英二

目明し 鈴木信子

夜鷹 片岡好右衛門

弟の下僕 うざんや 富盛 卯多衛門

解説——「お祭七」について佐藤樹一路氏が監督製作した時代劇である。略筋——病に纏む妻を仇を誅へる子を抱ける彼は今日も又糧を求めて街を彷徨するのであつた。人の身を羨望する彼にも美しい戀人を妻と迎へた楽しい日もあつた。しかし浮世の浪風は突然彼から幸福を奪ひ去つて了つた。彼は妻に與へるべき金子を愛刀で替へて我家へ急いだ。しかしその途中金は盗まれ、彼は曲者を追ひつめたが、その家で彼は悪人の誘惑と妻子の飢を思ひ浮べ一味なる事を承知した。空腹を満した彼の眼にうつる女の妖艶な姿、しかし彼は女の誘惑に打ち勝ち其處を逃れたのであつた。既に御用の聲は迫つてゐた。かくて彼は涙の妻子を後に残さぬ庭へさ虫かれて行つた。



寫眞 「泥濘」 帝キネ佐藤樹一路作品、右より松枝鶴子と明石緑郎。